

連携診療所向け季刊情報誌

TO WA 架け橋

FOUR SEASONS
NEWS LETTER

2023.10

医療法人東和会 理念

私たちは「愛」と「和」の精神を大切にします。
そして患者さまの人権を尊重し、「地域のみなさまに信頼され、愛される病院」を目指します。

CONTENTS

- ①竹山医師が国際学会において1位に輝きました。
- ②第一東和会病院が臨床修練指定病院に。
- ③特定行為看護師6名が誕生。
- ④東和会グループ12名が大坂病院学会で発表。

お問合せ 地域連携室

第一東和会病院 TEL: 072-671-1118(直通)
第二東和会病院 TEL: 072-674-1008(代表)
東和会いばらき病院 TEL: 072-623-0234(代表)



竹山医師が国際学会において 1位に輝きました。



向かって右から三番目が竹山政美医師

当院の女性泌尿器科ウロギネコロジーセンター長である竹山政美医師が「The Asia-Pacific Urogynecology Association」の「The Best Paper Award」に1位に輝きました。

この賞は2022年の1年間に発表された論文の中から優秀な論文に贈られるもの。TVM手術※(骨盤臓器脱メッシュ手術)の成績を纏めた論文が評価されました。

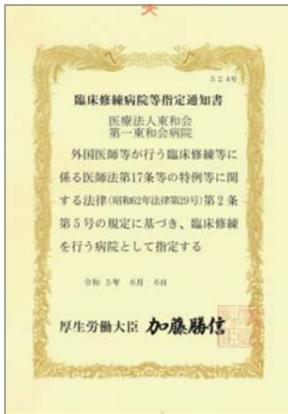
※TVM手術とは：骨盤臓器脱は骨盤を支える骨盤底や筋膜や子宮などを支える靱帯の緩み、損傷によっておこる。TVM手術はこの筋膜や靱帯を一体として修復する手術のこと。

受賞論文タイトル
Is transvaginal mesh procedure a potential measure for pelvic organ prolapse repair when performed by expert surgeons?

(経膈メッシュ手術は熟練した外科医が行えば、骨盤臓器脱修復の有力な治療法となりえるか?)



第一東和会病院が臨床修練指定病院に。 1名の医師がプログラムを終了。



2023年6月6日、第一東和会病院は厚生労働省より、臨床修練指定病院の指定を受けました。日本において日本の医師免許を持たない外国人医師は、診療行為が認められておりません。臨床修練制度は、厚生労働省にて審査・許可を得て、指導医のもとで医療行為が認められる制度です。

当院は、グローバルな視点に立つことで、さらなる医療の質の向上を目指し、また世界の医療発展へつながることを願い、同制度を活用していきます。

7月、この制度を利用するために台湾から趙梓辰(ちようししん)先生が来日。9月25日、プログラムを終え、帰国されました。

趙先生が当院で研修を受けるに至ったきっかけは、当院の女性泌尿器科・ウロギネコロジーセンター長である竹山政美医師の国際外科学会(ICS)でのプレゼンテーションに感銘を受けたことでした。本人の熱意が竹山医師に届き、研修が実現されました。日本での経験を通じ、今後ますますの活躍が期待されます。



臨床修練を終えた趙梓辰医師

東和会グループは 医師の働き方改革を推進。 特定行為看護師6名が誕生。

厚生労働省がまとめた報告書※では、我が国の医師は「全職種中最も労働時間が長い」と強調されています。勤務時間外のサービス労働が常態化しているのもご存じの通りです。今後、日本は高齢者の増加に伴う医療需要の高まりなどが進む中で、医師の負担がさらに増加することが予想されます。

こうした中、2024年4月から、医師の働き方改革の新制度(労働時間を減らす取り組み)が施行されます。医師が健康に働き続けられる環境を整備することは、医師本人にだけでなく、患者さまに提供される医療の質・安全を確保する上で重要となります。

これらを踏まえ、東和会グループでは医師の業務の中から、他職種でも対応できる業務(特定行為)を看

護師や薬剤師などに移管するタスクシフト(業務移管)の取り組みを進めています。

看護師には、38の医療行為が特定行為として定められています。このほど、第一東和会病院でも6名の看護師(1期生)が特定行為研修を修了(下記参照)。研修を受けた区分の特定行為ができるようになりました。さらに、2、3期生が研修を進めています。

今後も東和会グループは、医師の働き方改革に取り組み、地域の皆さまが「安全で安心して暮らせる」医療体制を維持します。



▶HCU救急 三宅達司 師長
(救急看護認定看護師)
「術中麻酔管理領域パッケージ」を修了
「病院のバックアップもあり、大変な中でも楽しめました」

▶感染防止対策室 吉野正治 師長
(感染管理認定看護師)
「感染に係る薬剤投与関連」
「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を修了
「医師と看護師、看護師と患者をつなぐ存在になれたと思います」

▶手術室 玉木裕一 主任
(手術看護認定看護師)
「術中麻酔管理領域パッケージ」を修了
「ここで学んだことの生かし方を、医師の先生と検討していきます」

▶看護管理室 井上麻美 主任
(皮膚排泄ケア認定看護師)
「創傷管理関連」を修了
「自施設で学べるのは大きなメリットでした！」

▶HCU救急 加藤駿作
(動脈血液ガス分析関連)
「術後疼痛管理関連」
「腹腔ドレーン管理関連」を修了
「これまでの経験を確認する力試しのつもりで研修をうけました。」

▶4階南病棟 中村一乃
(糖尿病看護認定看護師)
「血糖コントロールに係る薬剤投与関連」
「栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連」を修了
「主治医の先生のもと、研修で学んだことを生かしたいです！」

※「医師の働き方改革に関する検討会 報告書」(平成31年3月)

